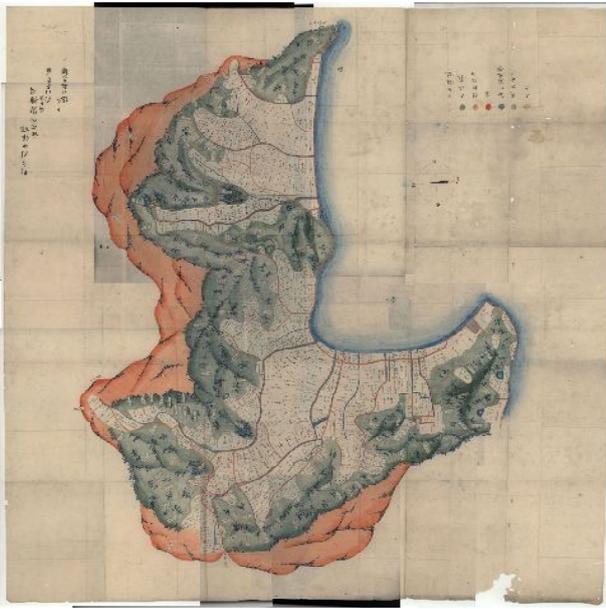


平成25年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A 4	取組 名称	舞鶴市の文化遺産調査と活用
研究代表者:	文 学部	職・氏名:	准教授・上杉和央
研究担当者:	京都府立大学 (上田純一・東昇・菱田哲郎・向井佑介・松田法子) 外部分担者・協力者 (小室智子氏)		
主な連携機関 (所在市町村、機関 (部署) 名)	京都府舞鶴市		
<b>【研究活動の要約】</b>			
3カ年の研究計画の1年目として、次のような調査を行いました。 ①江戸時代の地図の写真撮影と明治時代の地籍図のデジタル化を行いました。 ②舞鶴市郷土資料館に所蔵・寄託される資料についての調査と翻刻 (一部) を行いました。 ③上記、地籍図および文字資料の残る堂奥地区について、区民の方から地域の歴史を聞き取り、また神社の石造物等の現地調査を行いました。 ④若狭街道 (松尾寺～東舞鶴市街) の景観調査を行いました。 ⑤舞鶴市郷土資料館で調査成果をふまえた展示を行いました。			
<b>【研究活動の成果】</b>			
上記、②・③・⑤に関わる成果を紹介します。 舞鶴市郷土資料館に新たに収蔵された、田辺藩の幕末の海防に関する資料と、舞鶴市堂奥地区が所有していた資料について、どのような資料が含まれているのか、どのような内容が書かれているのか、といった点についての調査を実施し、江戸時代以降の地域の歴史を伝える貴重な史料であることを確認しました。 そのうち堂奥地区については、地域の皆さまに聞き取り調査をさせていただき、資料が残されていないより新しい時期の地域の歴史について、ご教示いただきました。 これらの調査によって得られた成果をふまえて、舞鶴市郷土資料館で開催された「平成25年度収蔵品展」(平成26年2月15日〔土〕～3月16日〔日])のなかで、資料の紹介展示を行いました。さらに3月1日 (土) 13時30分～15時00分にはミュージアムトークとして大学院生が資料についての開設を実施しました。			
<b>【研究成果の還元】</b>			
(開催した発表会・成果報告会等の開催日、場所、参加者 等を御記入ください) 平成25年度収蔵品展 (舞鶴市郷土資料館) での成果展示 (平成26年2月15日〔土〕～3月16日〔日]) ミュージアムトーク (舞鶴市郷土資料館 3月1日〔土〕13時30分～15時00分)			
お問い合わせ先	文 学部 (研究科)	准教授・上杉和央	
Tel:	075-703-5278	E-mail:	kuesugi@kpu.ac.jp

参考（イメージ図、活動写真等）



地籍図スキャンデータ（堂奥地区）



近世古地図撮影風景（2013年11月）



若狭街道（松尾寺～東舞鶴市街）の景観調査風景（2013年12月）



舞鶴市郷土資料館での展示風景（2014年2月）